

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 6年 2月 1日
住 所 埼玉県朝霞市膝折町4-6-3
県内企業等の名称 株式会社高山
代表者役職 氏名 代表取締役社長 高山 大輔

株式会社高山 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の環境方針である「資源を大切に、自然にやさしい活動を～地球と共存する為に」に基づき行動し、将来に渡り社会貢献を果たすべく成熟した企業を目指して参る。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 電気使用量:348,076kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減(313,268kwh/年) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減(330,672kwh/年)
社会	従業員の年次休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 1人当たり平均年次休暇日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 13日/年
経済	高齢者の雇用比率を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(65歳以上)の雇用比率:4.5%(1人/22人)	<2030年に向けた指標> 13%(3人/23人) <取組開始3年後に向けた指標> 8.7%(2人/23人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。